後輩甘えックス
収録台本

キャラクター：キリエ

ファイル：p01

■パート1：愛の巣子作りセックス

SE　セミの鳴き声　繰り返し

キリエ　kiri_p01_001
「ふ～～～～……やっと到着ですね、センパイ。はぁ……遠かったー……」

キリエ　kiri_p01_002
「それにしても、本当に廃村になってしまったんですね。人っ子一人見当たりませんでした……」

キリエ　kiri_p01_003
「なんだか、生まれ故郷が無人になってるのって、寂しいですね……」

キリエ　kiri_p01_004
「え？　気乗りしなくなったか、って？　もう、何言ってるんですか」

キリエ　kiri_p01_005
「私、今日、この日をずーっと楽しみにしてたんですよ」

キリエ　kiri_p01_006
「この『廃村再活性プログラム』に応募したのは、失われた故郷をなんとか蘇らせてあげたかったからなんです」

キリエ　kiri_p01_007
「過疎化の結果、無人になってしまった村が、日本全国にあります」

キリエ　kiri_p01_008
「そういった廃村を復活させるために、希望者の生活してもらって、徐々に村の居住者を増やしていく……そういう計画なんです」

キリエ
kiri_p01_009
「ここは、私達が住んでた村なんですよ？　といってももう１０年以上昔の話で、記憶もおぼろげですけど……」

キリエ
kiri_p01_010
「えーっと……たしか、この先に村長さんが住んでた大きな古民家があったはずなんですが……」

キリエ
kiri_p01_011
「あ、ここですね！　今日からここが、私達のお家です。ふふ、なんだかワクワクしてきましたね、センパイ」

キリエ
kiri_p01_012
「とりあえず、荷物をおろしましょう……センパイ、大丈夫ですか？　どこか傷めたりしていませんか？」

キリエ
kiri_p01_013
「え？　少し喉が乾いた？　任せて下さい」

キリエ
kiri_p01_014
「はい、センパイ。麦茶をどうぞ。冷えてて飲み頃ですよ」

キリエ
kiri_p01_015
「水筒に入れて凍らせておいたんです……ふふ、美味しいでしょう？」

SE　セミの鳴き声　繰り返し

キリエ
kiri_p01_016
「えっと、まずはこの古民家で生活できるかどうかチェックしなきゃ」

キリエ
kiri_p01_017
「水道も電気もガスも、最低限使えるようになってるって話ですけど、一応確かめておかなきゃ……」

キリエ
kiri_p01_018
「えーっと、ますがブレイカーを上げてなきゃいけませんね」

キリエ
kiri_p01_019
「……えーっと、あ、あった。あれですね！　よいしょ――キャッ！！？」

高いところのブレイカーに触れようと背伸びをするが、バランスを崩して転んでしまう

SE　転倒音

キリエ
kiri_p01_020
「……あ、危なかった。床が腐っていたみたいです」

キリエ
kiri_p01_021
「すみません、センパイが支えてくれなかったら、私、転んで怪我してたかも……」

キリエ
kiri_p01_022
「あ、あの……その、ありがとうございます。えっと、そろそろ……手を離してもらえませんか？」

キリエ
kiri_p01_023
「あん……そんなにギューっとして……駄目です。誰かに見られたらどうするんですかぁ……」

キリエ
kiri_p01_024
「え？　あ、そうでした……ここは廃村でしたね。えへへ……じゃ、ちょっとぐらいなら、構いませんよ、センパイ」

キリエ
kiri_p01_025
「これからずっと、朝から晩まで二人っきり……ふふ、なんだかドキドキしちゃいますね」

キリエ
kiri_p01_026
「……ええ、センパイは、本気でこの故郷の村を蘇らせたいんですよね」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_027
「ちゃんとわかってます。センパイの純粋な思い、叶えるお手伝いをしたいと思っています」

kiri_p01_028
「私だって、この村を愛しているんですよ？」

kiri_p01_029
「だから……その、あの、頑張って、村を蘇らせましょうね……でも、今はちょっとだけ、センパイを感じたいです……」

kiri_p01_030
「ん……チュッ（キス音）……ふふ、優しいキスですね……」

kiri_p01_031
「なんだか、もっとキスしたい気分です……んん、テュッ、んちゅ、れろ、ぴちゃ……（ディープキス音）」

kiri_p01_032
「ああ、センパイの舌、すごく柔らかい……んん、れろ、ぴちゃ、ねろねろ」

kiri_p01_033
「……もう、センパイったら……そんなに舌を使われたら……私……」

kiri_p01_034
「んん、ふぅ……駄目ぇ……ここのチェックをしなきゃいけないんです」

kiri_p01_035
「……これ以上チューされたら、力が抜けて、動けなくなっちゃう……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_036
「もっとしたい……？　もっともっといっぱいチューをしたいんですか？」

kiri_p01_037
「ふふ、センパイったら、甘えん坊さんですね」

kiri_p01_038
「ふえ？　違う？　もっと……もっと別なこと……？」

kiri_p01_039
「ん……あ、やだ、センパイ……おっぱい、触らないでぇ……はぁ、んん、恥ずかしいですぅ……」

kiri_p01_040
「大きいおっぱい、好きなんですか？　もう、いまさら何言ってるんですか……わざわざ言わないで下さい」

kiri_p01_041
「このおっぱい、センパイに触って欲しくて、一生懸命大きく育てたんですよ？」

kiri_p01_042
「自分でモミモミしながら、センパイに触ってもらう想像をして……ん、んん、はぁ……」

kiri_p01_043
「ええ、もう乳首がビンビンに……。だって仕方ないじゃないですか……気持ちいいんですもの……」

kiri_p01_044
「きゃん！？　ア、アソコも触るんですか？　あうぅ、今、汗かいてて、恥ずかしいです……」

kiri_p01_045
「シャワーが使えるか、まず確認して――あっ、ああああ、駄目、パンツ、降ろさないでぇ……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_046
「はぁ、んん、やぁん、センパイの指が……あ、ああ、私の大事なところに……」

kiri_p01_047
「そうです、もうすっかり濡れちゃってます……。きゃうん、もうセンパイのエッチぃ……」

kiri_p01_048
「（キス音）んちゅぅ、れろ……ねろねろ……はぁ、ふぅ……強引なんだからぁ……でも、優しいキス……」

kiri_p01_049
「もう、そんなにされちゃったら……センパイのこと、もっと好きになっちゃいます……」

kiri_p01_050
「きゃっ、もう我慢できない……？　そ、それって、つまり……わ、わかりました……」

kiri_p01_051
「ピュッと出して、スッキリして、ここの調査、再開しましょうね」

kiri_p01_052
「えっと、パンツの中、失礼します……うわぁ、センパイのオチンチン、こんなに大きくなってる……」

kiri_p01_053
「ああ、もう……こんなに硬くさせて、仕方ないんだからぁ……ほら、カッチカチですよ」

kiri_p01_054
「先っちょがまんまるに膨らんで、血管がプクプク浮かび上がってる……はぁん、もうエッチな形……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_055
「ほら、お手々で気持ちよくしてあげますね……んふふ、ほら、シコシコ、シコシコ……」

kiri_p01_056
「ああ、センパイの匂いがする……はぁ、センパイのオチンチンの匂い、大好き……」

kiri_p01_057
「かったーくなってきましたね。もうイキそうですか？　いいですよ、出しちゃってください」

kiri_p01_058
「しこしこ、しこしこ、ささっ、びゅびゅーって、ね？　セ・ン・パ・イ」

kiri_p01_059
「え？　手でイクのはイヤ……？　ああん、駄目ですぅ……」

kiri_p01_060
「私、汗だくなんです。続きは、せめてお風呂に入ってからに――」

kiri_p01_061
「きゃん！？　いきなりそんな、正面から抱きつくなんて、卑怯です……あぁん、駄目ぇ……」

kiri_p01_062
「あぁっ、オチンポ、割れ目に擦りつけてるぅ……くちゅくちゅ、いやらしい音立てて、もう、えっちですね……」

kiri_p01_063
「あ、ああ、駄目、入っちゃう……カチカチチンポが、私の割れ目、こじ開けて……」

kiri_p01_064
「あっ、あっ、はぁ、あはぁぁぁぁ……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_065
「ん、ふぅ……入っちゃいましたね……もう、センパイったら、強引なんだからぁ……」

kiri_p01_066
「んん、はぁ……や、約束、ですよ？　スッキリしたら、ちゃんとチェック、手伝って下さいね……」

kiri_p01_067
「あ、ああ、奥まで、ゆっくり入ってくる……ふふ、私、正面からって大好き……」

kiri_p01_068
「だって、センパイと見つめ合いながら気持ちよくなれるんですもん」

kiri_p01_069
「今、先っちょがお腹の中を引っ掻いています……ふぅ、んんん」

kiri_p01_070
「このアソコが……オマンコが、引き伸ばされる感じ……ちょっと好き、です、ふぁぁ」

kiri_p01_071
「んっ、はぁ……おちんぽが、お腹の中全部をギュッて押し込んでくるみたい……」

kiri_p01_072
「はぁ、んん、センパイったら、逞しい……」

kiri_p01_073
「あっ、ああっ、届いちゃう……お腹の、一番奥に、先っちょが……あっ、んくぅ、あはぁぁ……」

kiri_p01_074
「今、オチンポの先っちょが……はぁ、はぁ……私の大事なところをコツコツとノックしています……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_075
「ん、んん、あふぅ……気持ちいい……これ、すごくいい……」

kiri_p01_076
「はぁ、ふぅ……ふふ、ああ、駄目、おっきい声が出てしまいそう……」

kiri_p01_077
「あ、よく考えれば、思いっきり声を出していいんですよね……」

kiri_p01_078
「ふふ、だって、この村には、私達二人っきりなんですもの……」

kiri_p01_079
「ああ、嬉しい……センパイと二人……大好きな人と、ずーっと二人っきり……ああ、夢見たいですぅ……」

kiri_p01_080
「はぁ、はぁ……センパイ？　もっと激しく動いて下さい……オマンコ、ジュクジュクになっちゃいました」

kiri_p01_081
「あっ……あっ、あはぁぁぁっ！？　ホントに、激しい……」

kiri_p01_082
「あ、ああ、そ、その感じ、好きです……少し苦しいけど、でも……ひうぅ、あひっ、んくぅぅぅ……」

kiri_p01_083
「ひゃうぅぅぅん、オマンコ、引っ張られて、裏返っちゃいそうですぅ……はぁ、ふぅ……んっ、んんぅん……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_084
「センパイ、あああ、駄目ぇ……私の声が、このおうちに響き渡っちゃってます……はぁ、はぁ、恥ずかしい……」

kiri_p01_085
「お願いです……センパイ……チューしてぇ……」

kiri_p01_086
「私の口、センパイのエッチな唇で、塞いで下さい……んん……んちゅ（キス音）」

kiri_p01_087
「ちゅっ、んちゅ、ねろ、ねろれろ、ぬるん……あはぁあ、舌が絡みついていく……」

kiri_p01_088
「センパイと私溶け合って、くっついていくみたいです」

kiri_p01_089
「ちゅむ、ぬるん、れろ、れろにゅるる……んあぁ、はぁ……暑い……暑いです」

kiri_p01_090
「……ぼーとしてきちゃったぁ……はぁ、はへぇ……」

kiri_p01_091
「オマンコがクチュクチュ言ってる……はぁ、あはぁあ……」

kiri_p01_092
「お口も、オマンコも、エッチな涎でいっぱいになっちゃう……」

kiri_p01_093
「もう、腰使い、エッチ過ぎですぅ……んん、はぁあん……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_094
「場所が違うから、でしょうか……今までのエッチと全然違う気がしますね」

kiri_p01_095
「えへへ、これも、この場所が私達の故郷だからでしょうか……あぁん」

kiri_p01_096
「はぁ、ふぅ……ふふ、きっと土地の神様が祝福してくれているのかも……なんちゃって」

kiri_p01_097
「ちゅっ、んちゅ、ぴちゃ、ちゅる、れろん……はぁ、あぁぁ、センパイの涎、美味しい……」

kiri_p01_098
「もっとチューしたく、なっちゃいます。ちゅっ、れるっ、んはぁ」

kiri_p01_099
「はぁ……ふぅ、ん、んん、やだ、私、自分で腰を振っちゃってます……」

kiri_p01_100
「はぁ、はぁ……んしょ、あはぁっ、ああん、駄目ぇ、止まらない……止まらないよぉ」

kiri_p01_101
「ええ、いつもより大胆になっちゃってます……。はぁ、ふぅ……だって」

kiri_p01_102
「だって、んはぁっ、大好きなセンパイと、夢の同棲生活が始まるんですよ……？　んひぃ」

kiri_p01_103
「オトナになって、偶然再会して……はぁ、ふぅ、お付き合いして」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_104
「でも、月に2、3度デートするだけでしたもの……」

kiri_p01_105
「あぁぁ……んふ……昔、この村にいたころから、私……あっ、ああんっ、ああっ」

kiri_p01_106
「ふぁぁ、私、ずーっとセンパイが、んんっ、憧れだったんです……はぁ、はぁ……あはぁぁあん……」

kiri_p01_107
「駄目ェ、腰が、動いちゃう……昔の思いが、燃え上がって……あ、ああ……」

kiri_p01_108
「止まらない……はぁ、んん、あはぁぁ……」

kiri_p01_109
「オマンコが、蕩けちゃいそうです……や、やだ、駄目ぇ……」

kiri_p01_110
「いっぱい濡れてる……私、すごくエッチになってるぅ……エッチな音、一杯出ちゃってるよぉ……」

kiri_p01_111
「はぁ、ふぅ……センパイ、チューしてぇ……ん、ちゅ、ちゅる、れろ……」

kiri_p01_112
「ちゅぷ、ねろねろ……はぁ、はぁ……唇と舌が、ジンジンしちゃいます……」

kiri_p01_113
「うっ、あっ、はぁ……ああぁ、オマンコの壁を、オチンチンの傘が張った部分で引っかかれてる……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p01_114
「はぁ、あぁあん、見て下さい……オマンコ汁が、掻き出されて……」

kiri_p01_115
「ああ、床がビチャビチャになっちゃったぁ……あはぁ、えっちなみずたまり……」

kiri_p01_116
「はぁ、はぁ……掃除しなくちゃ、ですね……ふふふ」

kiri_p01_117
「その前に、センパイのオチンポ、ピュッピュさせなきゃ、ですね……はぁ、はぁ……あああぁん……」

kiri_p01_118
「今、オマンコの中でビクンビクンしましたよ……はぁ、ふう……イキそう、なんですか？」

kiri_p01_119
「あはぁ、嬉しいです……センパイ、私のオマンコ、精液でいっぱいにして下さい……」

kiri_p01_120
「避妊？　そんなのしなくていいんです……私達はここに住み、ここで子供を育て、この村で幸せに生きていくんですから」

kiri_p01_121
「センパイも、そのつもりだったんですよね？　たくさん中出しして、たくさんの幸せを作りましょう？」

kiri_p01_122
「ええ、中に下さい……子宮は、欲しがってる……センパイの子種、受精したがっています……」

キリエ

kiri_p01_123
「はぁ、あはぁ……孕ませてぇ……センパイの精液、子宮にいっぱい流し込んで下さい……ん、んん、あぁ、あはぁぁぁ……」

キリエ

kiri_p01_124
「ああっ、すごい、センパイ、もっと、もっと激しく……あっ、ひい！？　あくぅ、ひやぁぁぁぁ……」

キリエ

kiri_p01_125
「わた、しも、ひぅうっ、イキますっ、いっしょに、センパイと、いっしょにぃ、んぅああっ、あっはぁああ」

キリエ

kiri_p01_126
「ああんっ、イクんですね？　いいですよ、出して、中に、出してぇっ、あああっ、んっはぁあああ」

キリエ

kiri_p01_127
「あ、ああ、イク……ひっ、やっ、イッ……イッちゃうぅぅぅぅ……っ！！！」

射精演出

キリエ

kiri_p01_128
「んくぅ！？　あはぁぁぁん！　入ってくるぅ！　ああん、センパイの体温が、おなかのおくにいっぱい集まってるぅ……」

キリエ

kiri_p01_129
「はぁ、あはぁ、すごい……すごいです……あああ、イクのが、んくぅ、あはぁ……止まりません……ひゃうぅぅ！　ひやぁぁぁ……」

キリエ

kiri_p01_130
「はー……はへぇぇ……まだ、出てる……センパイ、いっぱい溜めてたんですね……」

キリエ

kiri_p01_131
「これなら、きっと妊娠しますね……嬉しい……センパイ、この村を、私達で再び賑やかにしましょうね……」

キリエ

kiri_p01_132
「そのためには、いっぱい子作りしなきゃ……ふふ、今日一日で妊娠するぐらい、いーっぱいセックスしましょ」

キリエ

kiri_p01_133
「え？　ここのチェックの続き？　そんなの後回しです。だって、オチンポ、ギンギンのままじゃないですか」

キリエ

kiri_p01_134
「ほら、オマンコは、まだオチンポ欲しがっています……さあ、楽しましょ♪　セ・ン・パ・イ！」

p02へ

後輩甘えックス
収録台本

キャラクター：キリエ

ファイル：p02

■パート2：木陰でフェラチオ

SE　セミの鳴き声　数回

キリエ
kiri_p02_001
「センパイ、小川がありますよ。ほら、水、超綺麗ですねー！　あっ、小魚が泳いでる……」

キリエ
kiri_p02_002
「ふう……それにしても、暑いですね～～」

キリエ
kiri_p02_003
「もっと周辺の調査をしたいんですが、このままじゃ日射病になっちゃう」

キリエ
kiri_p02_004
「……そこの木陰で休憩しましょ、センパイ」

キリエ
kiri_p02_005
「ふぅ、風が気持ちいいですね。凍らせた麦茶も溶けてきましたし、ちょうど飲み頃ですよ」

SE　注ぐ音

キリエ
kiri_p02_006
「……はい、どうぞー」

キリエ
kiri_p02_007
「私もいただきますね……ゴク、ゴクゴク……はー、美味しい……。」

キリエ
kiri_p02_008
「ふぅ……うわぁ～～、汗びっしょりです」

キリエ
kiri_p02_009
「ふえ？　どーしたんですか、こっち見て……えへへ、そんなに見られたら恥ずかしいですよぉ」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p02_010
「……って、なんで、ニヤニヤしてるんですか……って、センパイ、私のおっぱい見てたでしょう！？」

kiri_p02_011
「え？　汗でシャツがスケスケになってる……？」

kiri_p02_012
「きゃっ、やだっ、もう！　どうして教えてくれないんですかぁ！　こんなの誰かに見られたら――」

kiri_p02_013
「って、えへへ、そういえば誰もいませんでしたね。じゃ、ちょっとぐらい平気ですね……」

kiri_p02_014
「じゃ、ふふ、センパイ？　いっぱいご覧下さいませ♪　なーんちゃって」

kiri_p02_015
「……やだ、もう、オチンチン、そんなに膨らませて……もう、元気なんだからぁ」

kiri_p02_016
「えっと、その……もしよかったら、ここで抜いてあげましょうか？」

kiri_p02_017
「って、そんなに嬉しそうな顔しないで下さいよぉ」

kiri_p02_018
「いきなりどうして、ですって？」

kiri_p02_019
「ほら、人目を気にしなくてもいいし、それにまだまだこの辺りの調査しなきゃ駄目ですし……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p02_020
「なのにそんなに前をパンパンにしてたら、歩き難いじゃないですか」

kiri_p02_021
「だ・か・ら、遠慮しなくていいんですよ……はい、センパイ、オチンポ出して下さい――」

kiri_p02_022
「うわぁ……ホント、ビンビンですね～。パンツの中によく収まりましたねぇ……」

kiri_p02_023
「じゃ、、早速始めましょうか」

kiri_p02_024
「（舌を伸ばして、舐める）ん～～……れろ、れろれろ、ねろ、んちゅ、ぬるぬる、れろん……んふぅ、おちんちんの味が濃いです」

kiri_p02_025
「ねる、れろれろ……んちゅ、ねるん……んん、汗の味……それに、うっすらカウパーの味がします……れる、ねろねろ……」

kiri_p02_026
「やだ、謝らないで下さい……ねる、れろれろ、んちゅ」

kiri_p02_027
「えっと、その……言うの恥ずかしいけど、れるっ、んちゅ、この匂い、ちょっと好きなんです、れろん」

kiri_p02_028
「ぺろ、れろ、れろれろ……ああ、もうっ、そんなこと言わせないで下さい」

キリエ

kiri_p02_029
「……んちゅ、ねろ、興奮してきちゃうじゃないですかぁ」

キリエ

kiri_p02_030
「はぁ、ふぅ……あぁん、もっと激しくしたくなっちゃいます……れろ、れろねろ、ぴちゃん……んん、はぁ……」

キリエ

kiri_p02_031
「ふふ、そうですね。風の音の中に響くフェラ音って、すごくいやらしい……ふふふ」

キリエ

kiri_p02_032
「れろ、ねるねる、れるん……んちゅぅ、ぺろん……はぁ、ああ、ムラムラしてきちゃう……」

キリエ

kiri_p02_033
「ぺロぺロだけじゃ物足りない……」

フェラチオ中なので、基本的には口の中にいれたままセリフになります。にくまん が ひふはん、となるイメージ。

キリエ

kiri_p02_034
「（しゃぶりつく）んは～むぅ……むぐ、んちゅ、れろ、れろれろ、にゅるる、んちゅぅ……はぁ、ふぅ……」

キリエ

kiri_p02_035
「むぐ、もごもご……ちゅぴん、ああ、駄目ぇ、センパイのオチンポの匂い、すごくエッチぃ……」

キリエ

kiri_p02_036
「んぁむ。むぐ、んちゅぅ……ぴちゃ、れるん、ぬるる、ぬちゅぅ……」

キリエ

kiri_p02_037
「はぁ、んん、あぁぁん……先っちょが舌の上でコロコロしてる……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p02_038
「ぴちゃ、ねる、れろれろ……んふふ、葡萄の実を口の中で転がしてるみたいで……」

kiri_p02_039
「ちょっと楽しいです……んはむ、ぴちゃ、んちゅるぅ」

kiri_p02_040
「ぺろぺろ、れろ、ねるん……にゅるる、れるん……はぁ、んん、美味しい……」

kiri_p02_041
「オチンポ味が、口に染み込んでくるみたい……」

kiri_p02_042
「あむ、むぐっ、れろれろ、ちゅぬるる……あはぁ、口の中でビクンビクンしてる……」

kiri_p02_043
「センパイ、気持ちいいですか？」

kiri_p02_044
「んふ、喜んでくれてよかった……♪」

kiri_p02_045
「れる、れろれろ、んちゅ、ちゅぶぅ、んん、んぁむ、むぐ、もごもご、むぐぅ……」

kiri_p02_046
「んぐっ。ごほっ、げご……（口離す）はぁ、ふぅ……ふふ、奥まで飲み込みすぎちゃいました……はぁ、ふぅ……」

kiri_p02_047
「でも、この喉が詰まって苦しい感じ……ちょっと好き、かも……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p02_048
「ふぁ？　ドＭ？　もう、違います……ちょっとＭなだけですぅ」

kiri_p02_049
「（フェラ再開）ん～～、ぱくっ、もぐもぐ……んぐぅ、じゅぼっ、じゅぐむぐ……んん、はぁ、はぁ……喉が詰まっちゃうぅ……」

kiri_p02_050
「え？　しゃぶりながら、モゾモゾしてる……？　濡れてるんだろう、って？　もう、そんなこと言わないで下さいよぉ」

kiri_p02_051
「んぁむぅ、んちゅ、むぐ、れりゅ……ねろねろ、れるん、ちゅるれろ……ん、はぁ……少し先っちょがヌルヌルしてきました」

kiri_p02_052
「むぐ、んちゅ、ちゅるじゅるる……ちゅぼくちゅぅ……はぁ、はぁ……」

kiri_p02_053
「スゴイ吸い付き？　えへへ、そんなに褒めないで下さいよぉ。きもち、いーですかぁ？」

kiri_p02_054
「んん、ぴちゃ、にゅるる、れろれろ……んはぁむ、むぐむぐ、ちゅるれろ、じゅぶじゅるるぅ……ああ、我慢汁の味がする……」

kiri_p02_055
「くちゅ、れろ、ねろねろ、にゅるん……んん、ふぅ、どうですか？　気持ちよくなってきましたか？」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p02_056
「ん？　もうちょっとでイキそう？　いつでもイッて下さいね……」

kiri_p02_057
「はぁむ、れろれろ、にゅるじゅるる、ちゅぼ、ぐちゅ、ちゅるれろぉ……」

kiri_p02_058
「んんっ、じゅぼ、ぐぶぐぶ、ちゅぼぉ……はぁ、んん、口の中で、ビクビクしてる……んあむ、ねろれろ、ちゅくるぅ……」

kiri_p02_059
「んれろ、むぐむぐ、ねろん、んちゅじゅるる……ああ、オチンポの中に、精液がたまってきてる……」

kiri_p02_060
「れろぬるる、ちゅぬ、ちゅるじゅるぅ……」

kiri_p02_061
「あ、あ、あぁ……ちゅる、ねろねろ、ちゅぐじゅる、じゅぼぉ……ヒクヒクしてる……」

kiri_p02_062
「はぁ、出されちゃうぅ……んん、ちゅぐ、ちゅるじゅぼぉ」

kiri_p02_063
「はっ、はい！　出して、下さい……私の口の中に、全部ぶちまけてぇ……んちゅ、じゅる、じゅるちゅるじゅぼぉぉ……っ！」

射精

kiri_p02_064
「んぶぅ！？　んぐぅ……んっ、んん……んあぁ、やだっ、すごぉい……っ、こんなにいっぱぁい……はぁ、んん……んんぅん……っ」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p02_065
「あ、んっ、まだ、出てる……きゃうぅぅ……口の中から、オチンポが飛び出ちゃう……ンッ、ぐぅ、んん……はぁ、はぁ……」

kiri_p02_066
「んんん……ふぅ、むぐ、もごもご……（口離す）んべぇ……」

kiri_p02_067
「……ほらぁ、手の平に出しましたよ……見て下さい。いっぱい出しちゃいましたね～……ふふふ」

kiri_p02_068
「はぁ、ふぅ……少し飲んじゃいました……んん、少ししょっぱくて、少し苦くて……センパイのじゃなかったら絶対飲めませんね」

kiri_p02_069
「うわぁ、濃い……手のひらの上でプルプル震えてる……これ、中に出されたら絶対妊娠してましたね……」

kiri_p02_070
「え？　妊娠させたかった？　も～、何言ってるんですか！　まだ真っ昼間なんですよ？」

kiri_p02_071
「そーいうことは……夜までお預けです」

kiri_p02_072
「（耳打ち）今夜、いっぱい子作りしましょうね……ふふふ、んー、チュッ」

kiri_p02_073
「ふふ、とりあえずホッペのキスで我慢して下さい」

キリエ

kiri_p02_074
「さあ、オチンポ、収まりましたね？　じゃ、そろそろ調査再開しましょ」

キリエ

kiri_p02_075
「まだまだ村の中を見てまわらなきゃ。さあ、もうひと頑張りです！　行きますよ、セ・ン・パ・イ！」

p03へ

後輩甘えックス
収録台本

キャラクター：キリエ

ファイル：p03

■パート３：授乳騎乗位セックス

SE　波の音、かもめの鳴き声等、海っぽい音を複数

キリエ　kiri_p03_001
「んー……めっきり涼しくなってきましたねー。ほら、海もすごく静かで、波の音がすーっと身体に染み込んでくるみたいです」

キリエ　kiri_p03_002
「この村に来て、もう３ヶ月……あっという間でしたね、センパイ！」

キリエ　kiri_p03_003
「『廃村再活性プログラム』もようやく準備が終わり、あとは再活性化のための道路やインフラ整備を待つばかり……」

キリエ　kiri_p03_004
「それもこれも、私達が真面目に村のレポートを作成し続けたおかげですね。エッヘン」

キリエ　kiri_p03_005
「ふふ、工事が始まって、道路やインフラ整備が済んだら、村にいっぱい人を呼びましょうね」

SE　波の音、かもめの鳴き声等、海っぽい音を複数

キリエ　kiri_p03_006
「……それにしても綺麗な砂浜ですね。ずーっと放置されてたからなんでしょうか」

キリエ　kiri_p03_007
「子供の頃、何度も遊びに来ていたはずなのに、こんなに素敵な場所だなんて気がついていませんでした」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_008
「ふふ、こうしてセンパイと一緒に思い出の場所で時間を過ごせるだなんて……本当に幸せです」

kiri_p03_009
「でも、これからは、二人の時間が取れなくなっちゃいますね……少し残念……」

kiri_p03_010
「え？　いえいえ、工事で人が入ってくるからじゃありませんよ。工事開始は来月からですしね」

kiri_p03_011
「じゃあ、どういう意味か……って？　ふふふ、それはねー……んー」

kiri_p03_012
「どうしよっかな？　言っちゃおっかなー……うー、やっぱやめようっと」

kiri_p03_013
「あっ、嘘ですっ、や、止めて下さいっ、ひゃっ、……ああん、くすぐらないでぇ～～……」

kiri_p03_014
「あは、あはは、く、くすぐったいですっ……い、言いますっ、言いますってばぁ」

kiri_p03_015
「い、言います、言いますから……もう、センパイったら、口を割らせるのが上手いんだからぁ……」

kiri_p03_016
「ふぅ……ふぅ……じ、実は、えへへ……あの、えーっと、お腹に、もう一人いるっぽいんですよねー」

kiri_p03_017
「……あれ？　ノーリアクション？」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_018
「いかにも『ぼーぜん』って感じですけど……ひょっとして、ショック受けてます？」

kiri_p03_019
「きゃっ！？　センパイっ、大喜びしすぎです！」

kiri_p03_020
「もう、そんなに飛び跳ねないで下さい！　水しぶきが……。ふふ、はしゃぎすぎですってばぁ」

kiri_p03_021
「落ち着いてくれました？　ふふふ、砂まみれになってるじゃありませんか……」

kiri_p03_022
「もうセンパイったら、子供みたいですね」

kiri_p03_023
「でも、喜んでくれて嬉しかった……その姿を目の当たりするまで、やっぱりちょっとだけ不安でしたから」

kiri_p03_024
「ほらほら、センパイ、顔に砂粒ついてます……ほら、こっち顔を向けて……」

kiri_p03_025
「……ほーら、取れた……え？　顔が近い？　キスしたくなりそう……ですって？」

kiri_p03_026
「いいんですよ、センパイ……この唇は、いつだってセンパイのものですから――」

kiri_p03_027
「（キス音）んん……んちゅ、ぴちゃ、ちゅ、ちゅちゅぅ……れろれろ……はぁ、舌がエッチです……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_028
「ちゅ、ぴちゃ、んちゅ、ねろねろ……あ、ああ……おっぱい、触られてる……」

kiri_p03_029
「センパイ、キスだけじゃ満足できなくなっちゃいました？」

kiri_p03_030
「ん、はぁ……ちゅ、ぴちゃ、乳首、コリコリされてる……」

kiri_p03_031
「んっ、はぁ、やだ、感じちゃいますぅ……はぁ、んんぅん……」

kiri_p03_032
「きゃぁん、下着、おろさないで下さい……。もう、駄目ですよ？　ここ数ヶ月の悪いクセですぅ」

kiri_p03_033
「どうせ誰にも見られないからって、いつでもどこでも裸になってエッチしちゃう習慣、今の内になおしておかなきゃ」

kiri_p03_034
「……ああん、もう、そんなにショボーンとした顔しないで下さい」

kiri_p03_035
「ほら、センパイ……私、おっぱい丸出しになっちゃいましたよ～」

kiri_p03_036
「ひゃうぅ……んっ、んん、はぁ……乳首、気持ちい……んん、こんなにビンビンになっちゃって……恥ずかしいですぅ」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_037
「あっ、ああ、はぁ……んん、はぁあん……そんなにモミモミしないで、下さい」

kiri_p03_038
「ふぁぁ……おっぱいだけで、イッちゃい、そう……んんっ」

kiri_p03_039
「ふふ、妊娠して、感度がよくなったのかも……？」

kiri_p03_040
「えへへ、きっと、センパイのことが、もっと大好きになっちゃったからだと思います」

kiri_p03_041
「え～～？　感度がどこまで良くなったか試したい……？　あぁん、そういってまた意地悪するんでしょう？」

kiri_p03_042
「あっ……あっ、はぁ……あああん、乳首がっ、あ、あああ……はぁ、はぁ」

kiri_p03_043
「……そんなにフェザータッチされたら……ひぐぅ、あうぅ……」

kiri_p03_044
「ん、はぁ……はぁ、まさかそういうソフト路線で責められるだなんて」

kiri_p03_045
「ひぅんっ、その、思ってもみなくて……ん、ん、ビックリしちゃいましたぁ……」

kiri_p03_046
「でも、その触り方……気持ちいい、です……んっ、あっ、ああっ」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_047
「んぅん、くふぅん、焦れったくて、身体が変になっちゃいそう……はぁ、ふぅ……」

kiri_p03_048
「きゃっ？　次、ですか？　赤ちゃんが生まれた時の、練習……？　そ、それは、ちょっと気が早くないですか？」

kiri_p03_049
「きゃん！！？　あ、あっ、ひぐぅ、あはぁぁぁぁっ！」

kiri_p03_050
「はぁ、はぁ……い、いきなり、乳首に吸い付かないで下さいよぉ～～……」

kiri_p03_051
「……はぁ、ふぅ、ビックリしすぎて、イッちゃいましたよぉ……ああ、もう、オマンコびちゃびちゃ……」

kiri_p03_052
「んっ、んん、はぁ……あぁあん、乳首が、舌で転がされてる……」

kiri_p03_053
「ん、くぅ……ああ、あ、赤ちゃんは、そんなエッチな舌使い、しませんってばぁ」

kiri_p03_054
「え？　俺はしてた？　し、知りませんよ、そんなことぉ……はぁ、はぁ……」

kiri_p03_055
「（小声で）センパイ、子供の頃からドスケベだったんですね……んふぅ……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_056
「にゃうぅぅぅ！！？　あっ、ああうっ、歯を立てないでぇ……っ！」

kiri_p03_057
「あ、ぐぅ、あうぅ……駄目っ、ま、また、イッ、ちゃ……あうぅぅぅぅ……っ」

kiri_p03_058
「はぁ、はぁ、あはぁぁ……もう、センパイったら、酷いんだからぁ……」

kiri_p03_059
「痛くならないギリギリの噛み方、上手過ぎです……はふぅ……」

kiri_p03_060
「もう、謝るぐらいなら……んっ、はぁ……最初から、しないで、下さ、あ、あ、ああ……はぁ……」

kiri_p03_061
「そうやって、乳首をチュッチュ吸われるのが、一番オマンコに来るかも……はぁ、ふぅ……」

kiri_p03_062
「これって母性本能なんでしょうか……赤ちゃんを慈しむ心が、ん、はぁ……気持ちよさを後押し、するの、かも……んっ、あぁあん……」

kiri_p03_063
「や、だ、駄目ぇぇ……っ、はっ、はぁ、んくぅ！ひゃうぅぅぅぅん……」

kiri_p03_064
「はぁ、ああん、また、イッちゃいましたぁ……」

kiri_p03_065
「ダメッ、あ、あああ、そんなに強く、吸われたら、乳首取れちゃうぅ……はぁ、ふぅ……」

キリエ
kiri_p03_066
「え？　母乳ですか？」

キリエ
kiri_p03_067
「もう、出るわけないでしょう？　はぁ、ふぅ……」

キリエ
kiri_p03_068
「母乳が出るのは、赤ちゃんが生まれた直後ぐらいが普通なんですよ？」

キリエ
kiri_p03_069
「はぁ……ふぅ、センパイったらぁ……赤ちゃんのこと、まだ詳しくないんですね」

キリエ
kiri_p03_070
「じゃ、お勉強の足らない悪い子に、お仕置きといきましょうか……ふふ」

キリエ
kiri_p03_071
「……ちょっと、引かないでください。騎乗位でガンガン責める感じを、すこーし演出したかっただけなんです」

キリエ
kiri_p03_072
「も、もうっ、いいから仰向けになって寝て下さい。はずかしい……」

キリエ
kiri_p03_073
「……わぁ、すご～い。おちんぽがぴーんって、お空を向いてる」

キリエ
kiri_p03_074
「こんなの見たらぁ、オマンコがうずいちゃいますぅ……んっ、それじゃ失礼して……んしょっと――」

素股

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_075
「ふふ、まだ挿れませんよ。まずは……オチンポの感触、割れ目で確認させて下さい……」

kiri_p03_076
「えへへ、素股っていうんですよね？　これ」

kiri_p03_077
「ん、はぁ、あ、ああ……クリトリスが、先っちょにクニクニされてる……はぁ、ふぅ……これだけで、イッちゃいそう、です」

kiri_p03_078
「え？　いっぱい濡れてる？　えへへ、だって、さっき、おっぱいだけでイカされちゃったんですよ？　もう準備万端です」

kiri_p03_079
「じゃあ挿れていい？　って、駄目ですぅ……もっと、センパイを焦らして、いじめてあげるつもりなんですから……ふふふ」

kiri_p03_080
「ほらほらぁ……どうですか？　気持ちいいですか？　ん、はぁ……ああ、駄目です、これ、私の方が焦れて、我慢できなくなっちゃいます」

kiri_p03_081
「ああっ、腰が前後に、はしたなく、クイクイってぇ、んふぅううっ、動いちゃいます、んはああっ、ああっ、あぁんっ」

kiri_p03_082
「ああ、もう、我慢できません……はぁ、ふぅ……挿れちゃい、ますね……ん、くちゅ、くちゅ、ずにゅぅっと――」

挿入

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_083
「あっ、はぁぁぁ……い、今、私、イッちゃいました……はぁ、ふぅ……」

kiri_p03_084
「おっぱいを、いーっぱい、いじめられたせいですね、きっと」

kiri_p03_085
「はぁ……ん、先っちょが、だんだんお腹の奥に近づいて、くる……んっ、くぅ！　あっ、あはぁぁ……お、お腹が、持ち上がっちゃう……」

kiri_p03_086
「くぅ、ん……あはぁ……濡れてる……オマンコの涎が、止まらない……はぁ、はぁ……」

kiri_p03_087
「センパイ、動いてくれますか？　もっと子宮が、ん、はぁ……気持ちよくなりたいって言ってます」

kiri_p03_088
「あぁぁっ、お、お腹の奥が、コツコツぶつかって……気持ちいい……はぁ、ん、ああ、はぁぁん……！」

kiri_p03_089
「ゆっくり動いているだけなのに……こんなに、気持ちいだけだなんて……はぁ、ふぅ……ん、くぅぅ……」

kiri_p03_090
「え？　本気で腰を動かしてみようか？　はぁ、はぁ……そんなことされたら、気持ちよすぎて、おかしくなっちゃうかも……」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_091
「ひ！？　やっ、あっ、あぁ、はぁぁん……っ、腰が、だんだん強くなって……ぐっ、うぅ、はぁ……あはぁ……」

kiri_p03_092
「お腹の奥が、ジンジン痺れて……また、イッちゃい、そう……です……はぁ、はぁ……あぁぁあん……」

kiri_p03_093
「子宮が、ゴツゴツ、音立てて…ひっ、あっ、はぁ、はぁあん……！　イ、イクッ……イッ、ちゃ……はぁぁあん……」

kiri_p03_094
「おっぱいがおおきい？　ユサユサしていやらしい……？　もう、今更何言ってるんですかぁ……はぁ、はぁ……」

kiri_p03_095
「さっきも散々、私のおっぱい、モミモミしたじゃないですか――ひゃうぅぅぅ！？」

kiri_p03_096
「はぁ、ああん、モミモミしながら、オマンコジュポジュポされると……あっ、あっ、駄目っ、すぐっ、いっ、イッちゃい、ます……っ」

kiri_p03_097
「ぐぅ、ひゃうぅ！　はぁ、はぁ……あぁぁぁぁぁ……ッ！　はぁ、はぁ……ほらぁ、やっぱり、イッちゃいましたぁ……はへぇ……」

kiri_p03_098
「い、イクのが、止まりません……ああ、駄目っ、もっとほしい……もっと気持ちよく、なりたいですぅ……んっ、んん、んくぅ……っ」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_099
「え？　私、自分で腰を動かしていた？　はぁ、はぁ……だ、だって、もっと気持ちよくなりたいんですもの……」

kiri_p03_100
「くぅ、ふぅ……はぁ、はぁ……あああっ、ま、また、イキ、そうです……ん、んん……ひゃうぅ、あはぁぁ……」

kiri_p03_101
「センパイ……センパイも、もっと、いっぱいオマンコ、かき混ぜて下さい……はぁ、ふぅ……一緒に、イキたい、です……」

kiri_p03_102
「あっ、あっ！　ひやあ！　うくぅぅ！！？　身体が、浮かび上がっちゃう……ぐっ、きゃうっ、はひぃぃ……！」

kiri_p03_103
「お、おっぱいも、気持ちいいです……も、もっときつくモミモミして下さい……はぁ、ふぅ……ん、ああああん……」

kiri_p03_104
「そ、そんなにされたら……っ、んぅ、くぅ、子宮が、壊れ、ちゃう、かも……はぁ、あぐっ、はぁ、うくぅぅ……」

kiri_p03_105
「はぁ、くぅ……今、きっと子宮の中で、ちっちゃな赤ちゃんが、ビックリしちゃってます……はぁ、はぁ……あっ、あああああ……っ」

kiri_p03_106
「乳首……痛いぐらい、いじめて、下さい……そ、そうです、その感じです！」

キリエ　kiri_p03_107
「あ、ああ、痛い……痛いのに、気持ちいいですぅ……っ」

キリエ　kiri_p03_108
「オマンコがねじれちゃうっ……オチンポに絡みついて、持っていかれちゃいそう……はぁ、ふぅ……ひぅ、うくぅぅ……ッ」

キリエ　kiri_p03_109
「すごい……もっとほしい……センパイの逞しいオチンポで、私のトロトロマンコ、もっとグチュグチュに、かき混ぜてぇ……」

キリエ　kiri_p03_110
「あっ、ぐぅっ、はぁ、あああ……い、イキ、そう……え？　センパイも、ですか……？」

キリエ　kiri_p03_111
「センパイ、お手々繋いで、いいですか……？　きゅって、恋人つなぎでっ」

キリエ　kiri_p03_112
「あああ、センパイの手の平……センパイの指が……私につながって……」

キリエ　kiri_p03_113
「ひっ、ぐぅ！　きゃうぅぅぃ！　イクッ……イッちゃうぅぅぅう！！！」

射精演出

キリエ　kiri_p03_114
「はぁ、はぁ、はへぇぇぇぇ……中で、せーしが……なみうってる……はぁ、ひやぁあ、お腹の奥で、オチンポ、暴れてる……っ」

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

キリエ

kiri_p03_115
「あああ、はぁ……精液が、あったかい……んっ、ふぅ」

kiri_p03_116
「くぅ、あはぁ……ま、まだ出てる……中で、おちんぽ、ビクンビクンしてる……はぁ、はぁ、あはぁぁ……」

kiri_p03_117
「あ……ああ……オチンポ……気持ちよかったぁ……はぁ、はぁ……見て下さい……オマンコから、白いのが、トロトロ溢れてる……」

kiri_p03_118
「ふふ、センパイ……イク時、指を絡めて、キュッと力を挿れちゃうクセ……自分で気づいてました？」

kiri_p03_119
「あれ、すっごく可愛いです……はぁ、はぁ……ふふ、だからいっぱいイカせたくなっちゃうん、です……」

kiri_p03_120
「ふぅ……楽しみですね。この村がどう発展していくのかわかりませんけど、私はずーっとセンパイの側にいますね」

kiri_p03_121
「え？　一緒のお墓に入ろう……ですって？　もう……もっと気の利いたプロポーズして下さい」

kiri_p03_122
「例えば『何年後になるかはわからないけど、村に式場が出来たら、一番に結婚式をあげよう』ぐらい言って欲しかったです」

キリエ

kiri_p03_123
「私達、この村で、この世界で、一番の幸せ者になりましょうね……あ・な・た♪」

終わり